

## 表在性膀胱癌に対するBCG膀胱内注入療法の臨床的検討

### 1. 研究の背景

膀胱癌は再発の可能性が高く、その再発の防止が必要である。その方法の一つとしてBCG膀胱内注入療法がある。その有用性、副作用に関し検討し、今後の臨床現場に役立てることは意義があり、必要であると考えられる

### 2. 研究の詳細

BCG投与症例の治療歴、再発の有無、および再発までの期間、副作用を検討する。

### 3. 目標症例数と研究実施期間

調査実施期間は本研究承認後から2018年9月8日まで。

2013年1月から2018年6月まで当院にて表在性膀胱癌に対し、BCG膀胱内注入療法がおこなわれた患者。対象症例数はおよそ60名を見込む。

### 4. 研究実施者及び連絡方法

研究責任者：地域医療機能推進機構金沢病院泌尿器科部長 高島三洋

研究分担者：同病院泌尿器科部長 上野悟

TEL：地域医療機能推進機構金沢病院(代表)076-252-2200

情報の責任者：地域医療機能推進機構金沢病院泌尿器科部長 高島三洋

### 5. 倫理的配慮

本研究結果を学会や学術雑誌へ発表することがあるが、その時には個人情報をも匿名化し、保護します。情報は厳重に管理し、本研究の目的以外には使用しません。